

第6学年「音楽科」シラバス

6年生ではこんな学習をします

学習の目標

創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞能力を高め、音楽を味わって聴くようにします。

学習の方法

学習した曲を、学校や家庭他いろいろな場で、友だちと合わせて歌ったり演奏したり鑑賞したりし、目的に応じた様々な表現活動を行います。
他教科とも関連をもたせ、広がりのある活動を行います。

学習の評価

音楽科では次の観点で評価します。
「音楽への関心・意欲・態度」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
「音楽表現の創意工夫」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等取り組み状況の観察、演奏の聴取
「音楽表現の技能」
演奏の聴取、表現の技能・理解等のテスト(自己・相互評価を加味) 学習プリントなど
「鑑賞の能力」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 学習プリントなど

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前期	1 につぼんのうたみんなのうた	歌詞の内容を生かし、旋律の美しさを味わって表現します。
	2 音の重なりとひびき	声や楽器の響き合いの美しさや楽しさを味わって表現します。 楽曲の特徴や曲想を生かして表現します。
	3 演奏のみりよく	様々な演奏による音楽表現の違いを感じ取り、よさを味わって聴きます。 歌詞の内容を味わい、曲想を生かした表現を工夫しながら、表情豊かに歌います。
	4 につぼんのうたみんなのうた	情景を想像し、季節の変化や自然の美しさを感じ取って表現します。
	5 物語と音楽	旋律や動機等が表している意味を知り、とらえて聴きます。 音色や強弱など、いろいろな要素の効果を感じ取って聴きます。
後期	6 音のスケッチ	イメージにあった音型や音楽の仕組みを活用し、見通しを持って音楽を表現します。
	7 伝えよう日本の音楽	日本の旋律の感じを味わいながら歌ったり、響きを味わったりします。 箏や尺八の音に親しみ、我が国の伝統音楽の独特の味わいを感じ取りながら聴きます。
	8 豊かな表現を求めて	音楽の仕組みを生かし曲想をとらえて、楽曲に合った表現を工夫します。 パートの役割や、ほかのパートとの関わりを意識し、聴き合いながら演奏します。 曲の構成に気づいたり曲の山を感じ取ったりして、表現の仕方を工夫します。
	9 音楽に思いをこめて	気持ちを音楽に託してつくられた作品について理解を深め、味わって表現したり鑑賞したりします。
	10 心をこめて表現しよう	卒業の感動を生かす歌い方を工夫します。 歌詞に表れている思いを感じ取って心をこめた歌い方を工夫します。